

第 29 回京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

- 1 日 時 令和 2 年 12 月 17 日（木）午後 5 時 00 分から午後 5 時 20 分
- 2 場 所 京都府職員福利厚生センター会議室
- 3 出席者 知事、山下副知事、舟本副知事、危機管理監、知事室長、職員長、総務部長、文化スポーツ部長、健康福祉部長、商工労働観光部長兼企画理事、京都府議会事務局次長、教育監兼学校危機管理監、警察本部長、山城広域振興局地域連携・振興部長、南丹広域振興局長、中丹広域振興局長、丹後広域振興局副局長、京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議議長及び京都市危機管理監

4 議事録

【危機管理監】

- ・ただ今から、京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催させていただきます。
- ・府内では、11 月 17 日に特別警戒基準に到達し、さらに今月以降、新規感染者が急増しております。
- ・本日は最近の感染状況等を踏まえ、年末年始を控えた今後の対応を協議いただくため、対策本部会議を開催いたしました。
- ・それでは西脇知事に会議の進行をお願いします。

【知 事】

- ・京都府内の新規感染者は、この 1 週間で 450 人を超え、昨日は 1 日の新規感染者としては過去最多となる 97 人が確認されるなど、感染が急拡大しております。
- ・この間、医療従事者の皆様には、第一線で、本当に御奮闘いただいております。まずもって、心から感謝を申し上げます。
- ・全国でも過去最多の 1 日当たりの新規感染者数が記録されております。
- ・12 月 14 日に開催された政府本部会議において、Go To トラベルについても 12 月 28 日～1 月 11 日まで、全国一斉に一時停止されることとなりました。
- ・本日の本部会議では、こうした様々な現状を踏まえ、今後の対策について議論したいと思っておりますので、よろしく願いいたします。
- ・まず、最近の感染状況について、健康福祉部長から御報告をお願いいたします。

【健康福祉部長】

※資料 1 に基づき報告

【知 事】

- ・続きまして、最近の感染状況を踏まえた今後の対応について、危機管理監の方から事務局案のご説明をお願いいたします。

【危機管理監】

※資料2に基づき報告

【知 事】

- ・最近の感染状況、および今後の対応につきまして、松井議長から御助言をお願いいたします。

【専門家会議議長】

- ・京都府においては、これまでにない急速なスピードで感染者数が増えている状況です。
- ・現在の重症者の病床占有率は少し余裕のある状況のように見えますが、今後もこのペースで患者が増加し続けると、まもなく感染の拡大防止に必要な感染者の隔離、あるいは濃厚接触者に対する疫学調査等の対応が追いつかなくなります。
その結果、重症者が増え、府民の皆様の必要な医療の提供ができない状態になります。
- ・まだ余裕があるというのではなく、これ以上患者を増やさない取組が、今、必要だと思います。
- ・私からも、府民の皆様にこれ以上感染を拡大させないための行動をお願いします。
- ・不要不急の会食は控えてください。会食には忘年会、新年会も含みます。
- ・コロナウイルスは、口から私たちの体の中に入ってきます。食事の機会は感染のリスクが高いと御理解いただきたいと思います。
- ・年末年始にかけて、もう一度、できるだけ外出を控えて、ご家族で過ごしていただきますようお願いいたします。

【知 事】

- ・ウイルスは口から入るため食事の機会のリスクが非常に高いということ
- ・感染者の増加により、疫学調査や隔離が追いつかなくなり、それが入院や治療が遅れにつながり、重症化のりすくにつながるということ
- ・そうしたこと事態に陥らないようにすることは、きわめて重要な論点だと思います。
- ・また、他の専門家会議の委員からも御意見をいただいておりますので、健康福祉部長の方から御報告をお願いいたします。

【健康福祉部長】

○専門家会議委員の意見

- ①京都府は重症化リスクのある高齢者の感染も増加しているので、医療崩壊を防ぐため、府民に対する切迫感のあるメッセージが必要
 - ②感染拡大防止のため、年末年始は、京都からの帰省、京都への帰省も控えるようアナウンスいただきたい。
 - ③飲食については、換気の良い場所で、人との間隔を離し、食べる時は黙々と、話す時はマスクを着用といったメッセージを必ずお願いしたい。
- ・どの委員からも、強い緊張感を伴った御意見をいただいております。以上です。

【知 事】

- ・続きまして、京都市の三科危機管理監からもご意見をお願いいたします。

【京都市危機管理監】

- ・昨日、市内においても感染者数が 75 人と過去最高となりました。
- ・家庭内感染と飲食機会での感染が非常に目立っており、換気や密接による問題が顕著に表われているというふうに認識しております。
- ・飲食店による夜 9 時以降の営業時間短縮要請は苦渋の選択ではありますが、医療体制、病床負担の軽減、そして、感染を抑制した上で社会経済活動を行っていくという観点に立てば、必要な取組であると認識しております。
- ・対象の事業の皆様を理解を得ることが、何よりも大事だと思います。
- ・私ども、感染防止徹底月間でございます。京都府と連携して、強力に周知、広報を行ってまいりたいと思います。
- ・年末年始の対策についてもしっかりと発出、実践を呼びかけ、全力で感染防止に取り組んでまいりたいと考えております。

【知 事】

- ・今回の事務局案では、飲食店の時短要請について、京都市を対象としております。
そういう意味では、今回京都市には苦渋の決断ではありますが、御協力をいただきます。
- ・逆にいえば、これを機にしっかりと感染の波を抑えるためにも、協力してくれる事業者の皆様の理解と協力が不可欠だと思っておりますので、京都市と連携して取り組んでまいります。
- ・他にご意見、ご発言等はございませんでしょうか。もしなければ、この事務局案によりまして今後の対応を進めてまいります。

※特になし

- ・それでは、本日の会議の総括を申し上げたいと思います。
- ・医療関係者の皆様の御尽力により、医療検査体制が大幅に拡充されてまいりましたけれども、現在の感染拡大状況からいいますと、そうした御努力が追いつかないくらいのペースだということもありますので、医療現場での負担を少しでも減らし、医療体制を守るという意味からも、一層の対策の強化が必要だと思っています。
- ・特に今から申し上げる 3 点について、万全の対応をお願いしたいと思います。
 - ①営業時間短縮の要請が、確実かつ円滑に実施されるように、是非とも関係団体、事業者の皆様へのご理解を賜り、要請をよろしくお願いしたい。
また協力金等の支給事務については、京都市ともしっかりと連携をして万全の体制で取り組んでいただきたい。
 - ②今回の急激な感染拡大を踏まえ、府民・事業者・市町村・関係団体等に対し、改めて年末年始の感染防止対策を集中的にさせていただくように強く要請をしていただきたい。

③医療提供体制がより厳しくなることが懸念されるので、京都府医師会とも協力し、年末年始の医療検査体制の確保に万全を期して取り組んでいただきたい。

- ・いずれにしても、異常な感染拡大でございます。年末年始を控え、緊張感をもって各団体、市町村等と連携をして、万全の体制で臨んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

【危機管理監】

- ・関係部局においては年末年始を控え、今程の指示事項を踏まえた万全の取り組みをお願ひいたします。松井議長、また三科危機管理監に御多忙のところ御出席を賜りまして誠にありがとうございます。
- ・以上をもちまして、対策本部会議を終了させていただきます。